

ExpressLRS 4.0.1 更新情報まとめ

v4.0.0 → v4.0.1 バグフィックスリリース

■ リリース情報

- ・リリース日: 2026年5月12日
- ・公開者: pkendall64 (ExpressLRSコア開発者)
- ・タグ: 4.0.1
- ・前バージョン: 4.0.0 (2026年2月7日リリース)
- ・性質: 4項目の修正を含む小規模バグフィックスリリース

■ このPDFについて

ぼすとそに工房では、ExpressLRSの全アップデート履歴を継続的にPDF化し、アーカイブとして残しています。本資料は4.0.0から4.0.1への変更点を、公式リリースノートを基に初心者にも分かりやすく解説したものです。

■ こんな方は早めのアップデートをおすすめします

該当する方	理由
Rotorflightでヘリを飛ばす方	フェイルセーフ問題の直接的な恩恵あり
TX16S / Zorro 送信機ユーザー	送信出力値の正確性が向上
「再接続できない」経験がある方	該当バグが修正されている
ELRS 4.0.0を使っている全ての方	出力修正は広く該当する

■ 今回のアップデートで何がよくなった?

【1】ヘリが突然動かなくなる問題が直りました

(Rotorflight利用者向け)

電波が届いているのに、なぜか機体が「フェイルセーフ」(操縦不能時の安全停止)に入ってしまう現象がありました。今回の修正で、この症状が大幅に改善されます。複数機にも影響が出ていたこともあり、ヘリの飛行安全に直結する重要な修正です。

【2】接続が切れて戻ってこない問題が直りました

一度通信が切れたあと、機体と送信機が再接続できなくなるトラブルがありました。これは既知の問題として報告されていたもので、フィールド(飛行場)で「電源を入れ直さないと繋がらない」という困った状況が減ります。

【3】送信機の出カパワーが正しい値に直りました

(TX16Sを含む多くの送信機が対象)

設定では「250mW」のつもりでも、実際にはそれより少し強い電波が出ていました。電波法の観点でも、正しい出力で運用するために重要な修正です。この問題はTX16Sシリーズだけではなく、ELRS 4.0.0を使っている方々が広く対象となっているため、なるべく早いアップデートをおすすめいたします。

注意:

ExpressLRSはオープンソースのコミュニティ開発プロジェクトです。アップデートはご自身の判断・自己責任で行ってください。

■ 技術的な変更点(公式リリースノート解説)

公式リリースノートに記載された4項目について、それぞれ「何が起きていたか」「何がどう直ったか」を解説します。

#3623 SX1280の TX/RX FIFO位置を分離

重要 / Rotorflight関連

◆ 背景

SX1280は2.4GHz ELRSで主力となるRFチップです。従来は送信(TX)と受信(RX)のFIFOバッファ位置が同じでした。

◆ 問題

受信中に送信動作が割り込むとデータが破損し、MAVLinkで「881」という固定値のRCパケットが届く問題(#3617)、Rotorflightや他のFCで見られた「ランダムなフェイルセーフ」「再接続不能」(#3636)の原因となっていました。

◆ 修正内容

TXとRXのFIFO位置を別々に分離。データ衝突が発生しなくなりました。

◆ 対象範囲

SX1280搭載の2.4GHz ELRS機器全般。NEXUS-XR等の内蔵受信機も該当。

#3626 PDET ADCが起動しない問題 / TX16S・Zorroの出力修正

重要 / 出力関連

◆ 背景

PDET (Power Detector) は送信出力を測定する回路、ADC (Analog-to-Digital Converter) はその値をデジタル化する部品です。

◆ 問題

起動時に正しく初期化されず、出力測定値がずれていました。その結果、TX16SやZorroで設定値より少し高い出力が出ていました。

◆ 修正内容

PDET ADCの初期化処理を修正し、出力測定が正常化。TX16S/Zorroの出力が設定通りの値になりました。

◆ 対象範囲

TX16S シリーズ全般、Zorro、その他PDET ADC搭載送信機。

#3532 SubGHz無線機での規制ドメイン選択オプション表示

軽微 / 900MHz帯のみ

◆ 背景

SubGHz (900MHz帯) モジュールで、地域別電波法に対応する「規制ドメイン」を選択する画面の不具合修正です。

◆ 問題

SubGHz無線機で規制ドメイン選択オプションが表示されないケースがありました。

◆ 修正内容

オプションが正常に表示されるよう修正。

◆ 対象範囲

SubGHz (900MHz帯) ELRSモジュール利用者のみ。2.4GHz (ISM2G4) 利用者には影響なし。

#3609 ESP32C3でパルスなしフェイルセーフが機能しない問題

軽微 / ESP32C3チップのみ

◆ 背景

ESP32C3 (Espressif製の低価格マイコン) を搭載した一部の受信機での問題です。

◆ 問題

設定したパルスなしフェイルセーフが動作していませんでした。

◆ 修正内容

フェイルセーフロジックを修正。

◆ 対象範囲

ESP32C3搭載受信機のみ。NEXUS-XR (STM32F722搭載) には影響なし。

■ アップデート手順について

アップデート手順は4.0.0と同じです。当工房で公開している「ELRS 4.0.0 ファームウェアアップデートガイド」をそのまま参考にしてください。USB方式 (EdgeTX Passthrough / Betaflight Passthrough)、Wi-Fi方式の両方に対応しています。

◆ 重要 ◆

送信機と受信機の両方をアップデートしてください
(片方だけだと不具合の原因になります)。NEXUS-XRなど内蔵受信機も含まれます。

送信機側だけアップデートして受信機を忘れる、というケースが起きやすいので注意が必要です。NEXUS-XRのように「フライトコントローラーに内蔵された受信機」も個別にアップデートが必要です。

■ 開発者への感謝と自己責任の方針

ExpressLRSは無償のボランティアによって開発されています。今回のような細かな修正の積み重ねで、私たちの飛行環境が日々改善されています。

アップデートを行う際は、開発者の方々への感謝の気持ちと、自己責任の意識を持って臨みましょう。

■ 参考リンク

- ・公式リリースページ: github.com/ExpressLRS/ExpressLRS/releases/tag/4.0.1
- ・完全変更ログ: github.com/ExpressLRS/ExpressLRS/compare/4.0.0...4.0.1
- ・ぼすとそに工房: postsoni.github.io